

血漿中蛋白結合率

全ての研究・試験は、動物福祉の観点から「動物の愛護および管理に関する法律」および「実験動物の飼養および保管等に関する基準」に適合することを審査して確認しています。また、動物施設は動物の人道的な管理を推進するAAALACの国際的認証を取得しています。



被験物質の血漿中蛋白結合率をin vitro /in vivoで評価します。

評価動物

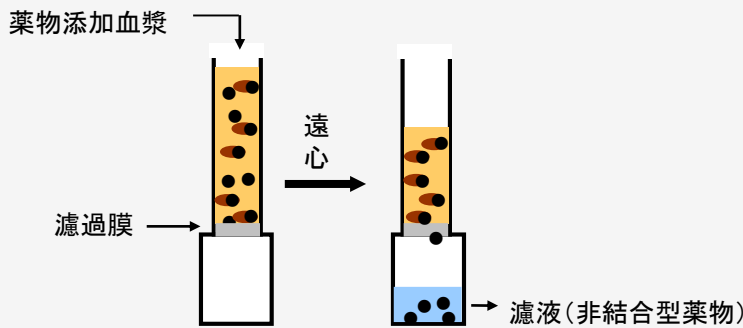
- ・ヒト、サル、イヌ、ウサギ、ラット、マウス、その他

試料

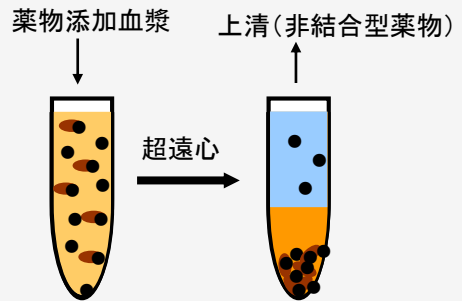
- ・新鮮血漿、血清
- ・血漿蛋白(アルブミン、 α 1-酸性糖蛋白、 γ -グロブリン等)

評価方法

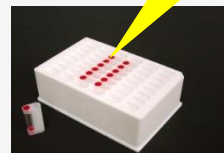
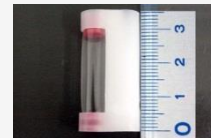
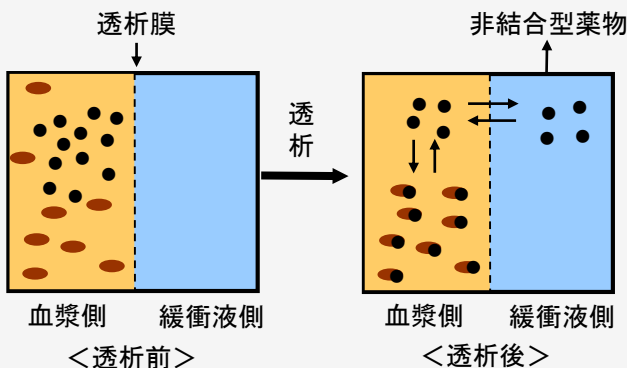
① 限外濾過法



② 超遠心法



③ 平衡透析法



RED Device
(ThermoFisher Scientific)



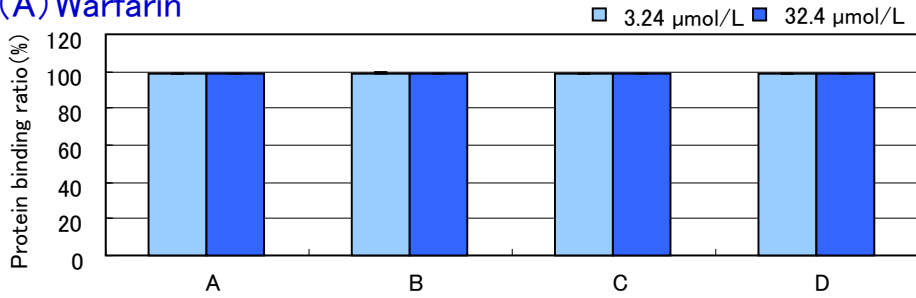
ED
(サンブラテック EC-1)

- : 蛋白
- : 薬物

掲載内容は2019年8月時点での情報です。試験項目は予告なく変更されることがございます。

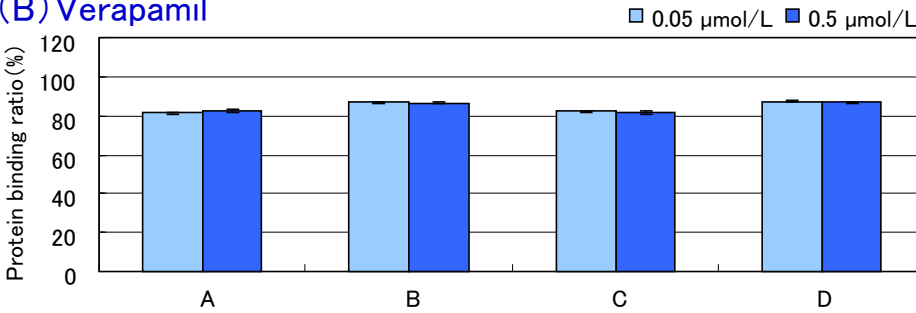
結果

(A) Warfarin

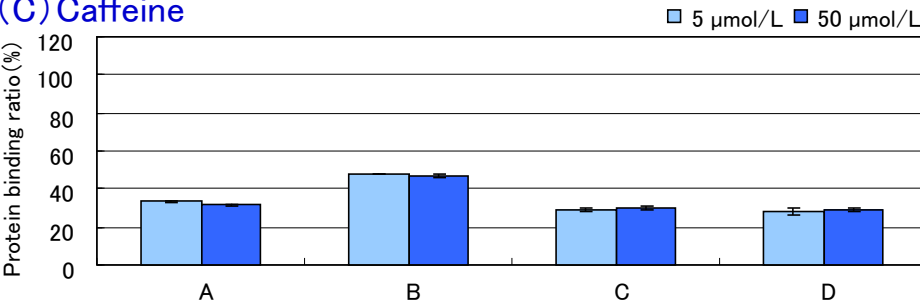


A: Ultrafiltration
 B: Ultracentrifugation
 C: Equilibrium dialysis
 D: Equilibrium dialysis (RED Device)

(B) Verapamil



(C) Caffeine



評価内容

- 蛋白結合率
- 蛋白結合の可逆性
- 結合蛋白の同定
- 結合パラメータの測定
- ヒト血清アルブミンの結合サイトの推定
 - 蛍光プローブ法
 - 結合サイト特異的薬物による結合率への影響

相互作用

- 市販医薬品との蛋白結合に関する相互作用を評価致します。
 - 被験物質が市販医薬品に及ぼす影響
 - 被験物質が市販医薬品から受ける影響